

AGA 解説

AGA 治療薬を処方するにあたって以下のことをお読みください。

非常に多くの方がミノキシジル・フィナステリド・デュタステリドを安全に服用された上で効果も実感されていると思いますが、お薬ですので、副作用もございます。たとえば、ミノキシジルですと初期脱毛や多毛症などはほとんどの方に出てくる症状です。弊院では、これらについてご納得いただけた方にのみ処方させていただいておりますので、よくご確認ください。

① AGA とは？

AGA とは「男性ホルモン型脱毛症」の意味です。ジヒドロテストステロン(DHT)というホルモンが毛髪サイクルの成長期を短くしてしまうことで薄毛が発生します。毛髪には毛周期というのがあり、毛根が休止期の後、長い成長期が始まります。

DHT はこの成長期に毛根に働きかけて

- ・成長期を短くする(抜けやすい)
 - ・髪質を細くする
- などの悪影響を及ぼします。

② AGA の治療は？

内服が中心になります。外用薬は内服から比べると効果が低いため補助的な役割になります。頭皮注射やメソセラピーも価格のわりに効果がそこまで期待できません。

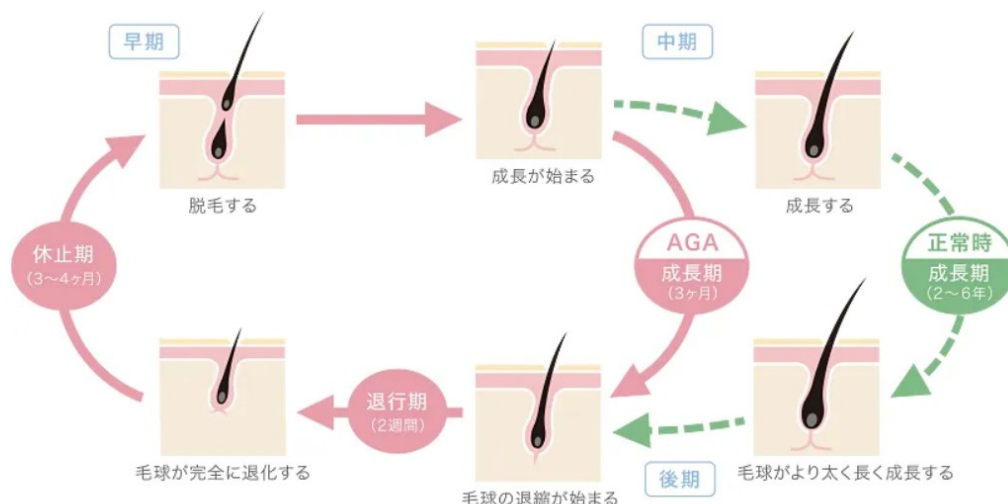
内服には

- ・ミノキシジル
- ・フィナステリドまたはデュタステリド

があります。亜鉛やビタミン剤なども AGA の内服として用いられることがありますが、あくまで補助的な意味しかありません。内服の中心は上の3つの薬の選択になります。

③ フィナステリドやデュタステリドの内服の効果は？

5 α リダクターゼという酵素がテストステロンを DHT(ジヒドロテストステロン)に変化させます。フィナステリドやデュタステリドはこの5 α リダクターゼの働きを抑えることで DHT の産生を抑制します。

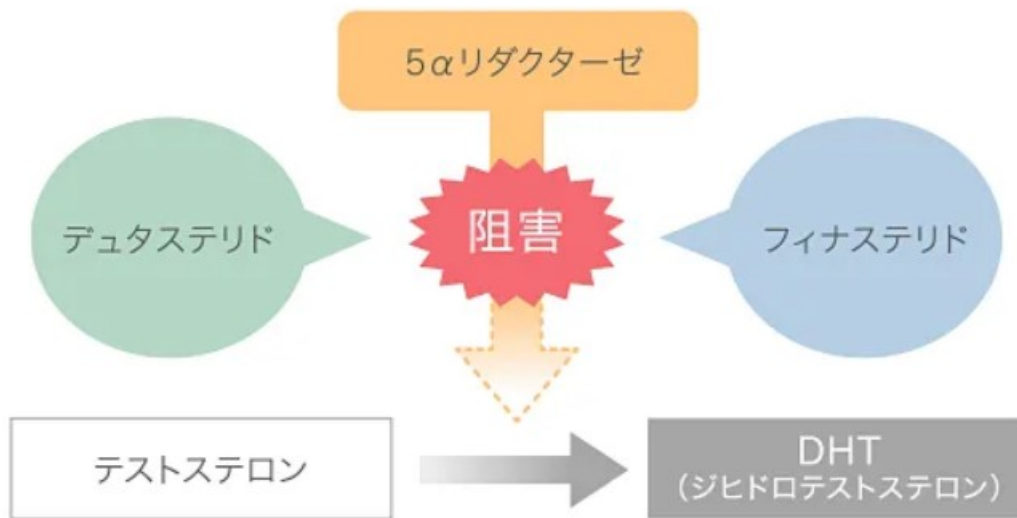


DHT が減ることで、薄毛の進行を抑えます。

④ デュタステリドとフィナステリド、どちらが効く？

デュタステリドのほうがフィナステリドよりも効果が高いです。

5 α リダクターゼにも 2 種類ありデュタステリドは両方を抑制しますが、フィナステリドは 1 種類しか抑制しません。さらに半減期と言って血中で薄くなるのにかかる時間もデュタステリドのほうが長いので、血中濃度が高く維持されやすいです。これらの理由から、デュタステリドのほうがフィナステリドよりも効果が高くなります。しかし、性欲減退や ED などの副作用もデュタステリドのほうが出やすくなります。フィナステリドでも十分な予防効果がありますし、価格などの問題もあり、一般的にはフィナステリドを飲んでいらっしゃる方のほうがはるかに多いです。



薄毛を進行させる DHT を抑えるわけですから、フィナステリドやデュタステリドは「AGA の進行を抑える薬」という役割の薬です。つまり、防御的な意味合いの薬です。「発毛させる薬」という効果はそこまで期待できません。予防的な意味で治療を始められる方にはフィナステリドかデュタステリドの内服でスタートされるのが良いと思います。

⑤ ミノキシジルの内服の効果は？

ミノキシジルは高血圧の薬として開発されました。しかし、副作用として体毛の増加が認められました。今では高血圧の薬としては全く使われておらず、AGA の治療薬として使われています。ミノキシジルは毛根の血流を良くすることで毛根の働きを活性化させると言われておりますが、作用機序は詳しくは解明されていません。しかし、効果は人によっては顕著に出ます。ミノキシジルの内服は全身に効きますので、頭髮だけでなく体毛も濃くなる場合があります。

⑥ AGA 治療薬の外用は効果が低め？

フィナステリドやミノキシジルの外用薬はありますが、

- ・皮膚から浸透しにくい
- ・浸透してもすぐに血流で流されてしまう

などの理由から効果が低めです。内服をされない場合は外用をお勧めしますが、内服をされている場合、高い治療費を支払って付けるほどの効果はないと考えております。(当院では現在、外用剤を処方しておりません)

⑦ 頭皮注射やメソセラピー

成長因子などを頭皮に注入します。成長因子の注入では効果が分かりにくいです。多くの場合、内服薬も併用し

ていますので、ミノキシジル内服などで発毛が促進されたりします。そこにメソセラピーを打っていれば当然発毛が促進されます。内服薬で十分です。

⑧ ミノキシジル内服上の注意点は？

ミノキシジルはもともと高血圧の薬として開発されたため血管拡張作用があり内服すると血圧が下がります。たとえば、血圧が130の方が120に落ちると、血液の流れ方が変わってしまいます。

そのため、様々な症状が出ます。

- めまい・・・圧力が足りないため頭に血が上りにくくなり脳貧血のような状態を起こします。
- 頭痛・・・脳の血管を拡張するため頭痛を引き起こすことがあります。
- 動悸・息切れ・不整脈・・・内服を始めると血圧が下がるため全身の血流動態が変化します。そのため、動悸や息切れが起こることがありますし、不整脈が起こることもあります。
- むくみ・・・手足や顔などの抹消の血管が拡張することでむくみが出る場合があります。

血圧が低い状態に体が順応してくるとこれらの症状は減ってくる場合が多いですが、減らない場合もかなりあります。一番確実なのは内服を止めていただくことですので、それをお勧めします。もし、そこまで症状が強くない場合にそれでも内服を続けたいという場合は減薬するか、あるいは循環器内科の専門医にかかることをお勧めします。

〈多毛症〉

ミノキシジル内服は頭髮だけでなく血流にのって体全体に行き渡るために全身で体毛が濃くなったり増えたりします。この場合は頭髮にも効いているわけですが、内服を止めない限り、この副作用はなくなりません。

〈肝機能障害〉

これは薬だとほとんどの薬でありえる副作用です。非常にまれです。

〈心臓疾患の方〉

高血圧の方、狭心症の方は血流動態の変化で病気に悪影響を及ぼすことがありますので、ミノキシジル内服はお勧めしません。特に狭心症の方は処方避けるべきです。内服するとしても循環器内科の専門医を持った医院での処方をお勧めします。糖尿病の方も動脈硬化が進行している場合があるので、お勧めしません。内服される場合は症状に注意をし、もし不安な症状が出た場合、専門医にかかることをお勧めします。

〈ミノキシジルの効果の出方、初期脱毛〉

ミノキシジルですが、毛根に働きかけて毛根が動き始めるのにかなりの日数がかかりますし、実際に発毛した毛髪がある程度の長さになるのにはさらに数ヶ月かかります。そのため、効果を感じるには数ヶ月～半年以上はかかります。まずは、そのくらいの期間は続ける必要があります。また、最初の1～2ヶ月に毛髪の抜けが増える場合があります。これは初期脱毛と言いますが、ミノキシジルが毛根に作用している証拠でもあるので、きにせず様子を見るようにしてください。

⑨ フィナステリドやデュタステリドの内服上の注意点は？

性欲減退やEDや精液量減少。フィナステリドで1～5%に性欲減退やEDなどが現れます。男性ホルモンを抑える作用があるためです。デュタステリドの場合、効果がもっと強いため副作用の出現率も2倍以上になります。飲んで問題があるようでしたら中止するか減薬することをお勧めします。フィナステリドとデュタステリドも内服薬ですので肝機能障害の副作用が有り得ますが、非常にまれです。